Imagica Robot Holdings Inc.

NEWS RELEASE

JASDAQ

2012 年 5 月 16 日

各位

会 社 名　株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
代 表 者　代表取締役社長 社長執行役員　長瀬 朋彦
（ＪＡＳＤＡＱ コード番号６８７９）
問合せ先　取締役常務執行役員 経営管理管掌　角田 光敏
Ｔ Ｅ Ｌ　０３－６７４１－５７４２
Ｕ Ｒ Ｌ　http://www.imagicarobot.jp/

当社子会社（株式会社IMAGICA）が

第 65 回カンヌ国際映画祭でワールド・プレミア上映が決定した

「楢山節考」のデジタルリマスター作業を担当

当社子会社の株式会社 IMAGICA は、木下惠介監督の生誕 100 年を記念して第 65 回カンヌ国際映画祭のクラシック部門で上映される「楢山節考」（製作：松竹株式会社、監督：木下惠介、1958 年製作）のデジタルリマスター作業を行いましたのでお知らせいたします。

（添付資料　全 1 枚）

株式会社 IMAGICA　プレスリリース

『第 65 回カンヌ国際映画祭でワールド・プレミア上映が決定した

「楢山節考」のデジタルリマスター作業を担当』

以上



PRESS RELEASE

報道関係者各位

2012 年 5 月 15 日

株式会社 IMAGICA

第 65 回カンヌ国際映画祭でワールド・プレミア上映が決定した「楢山節考」のデジタルリマスター作業を担当

株式会社 IMAGICA（本社：東京都品川区、代表取締役社長：藤川幸廣、以下 IMAGICA）は、木下惠介監督の生誕 100 年を記念して第 65 回カンヌ国際映画祭のクラシック部門で上映される「楢山節考」（製作：松竹株式会社、監督：木下惠介、1958 年製作）のデジタルリマスター作業を行いました。

1958 年に製作された「楢山節考」は、富士フイルム株式会社が開発したネガポジ方式のカラーネガフィルムを長編劇映画として初めて使用した作品です。カラーフィルム黎明期に多彩なカラーライティングを駆使して撮影された色彩豊かで幻想的な世界観が、54 年のときを経て、最先端の技術によって鮮やかに蘇りました。

このたび IMAGICA は、本作品の撮影助手であった喜屋武氏の監修のもと、保管されていたオリジナルネガを用いて画質を修復するデジタルリマスター作業を行いました。自社開発のスキャナー「IMAGER XE」を用いて 4K 解像度でスキャニングを行い、その後、2K 解像度に変換した上で、画のフリッカーや断続的なスクラッチ、濃度ムラ、傷、シミの除去や、揺れ止め、歪みの補正、パラ消しなどの修復作業を実施。ソフトウェアによる自動処理を活用しながら、細かな修復は手作業で行い、全工程を約 3 ヵ月間で終えて完成させました。また、喜屋武氏の詳細な指示のもと、発色に限界のあった当時のカラーフィルムの特性を活かして表現した“渋さ”のある世界観を、グレーディング作業によって当時意図した通り再現することに成功しました。

IMAGICA は、2004 年の「砂の器」を皮切りに、「二十四の瞳」や「幸福の黄色いハンカチ」、「東京物語」などのデジタルリマスター作業を担当し、貴重な経験とノウハウを蓄積してきました。松竹製作作品としては「楢山節考」で 6 作品目になります。このような文化的に価値の高い映像資産をお持ちのお客様の「世界中の映画ファンの皆様へ名作映画本来の色彩を再現して届けたい」という強い想いに対して、IMAGICA は、今後もお客様にご満足いただけるような高品質なサービスを提供し続けるために、一層の技術向上に励んでまいります。

以上

◇ この件に関するお問合せ先

■株式会社ＩＭＡＧＩＣＡ　経営企画部 企画グループ

東京都品川区東五反田 2-14-1　TEL：03-3280-1278　FAX：03-3280-7503

担当：野津　仁